

### トピックス3 日本の先住民族 アイヌの人々とその文化

アイヌの人々は、現在の北海道とロシアにまたがる地域の先住民族です。古くから狩猟や農業、交易を行っていました。今も北海道には、アイヌ語に由来する地名も多くみられます。スキー場では有名なニセコアンヌプリの「ヌプリ」は、アイヌ語で「山」という意味です。

14世紀になると、本州から進出してきた和人（アイヌでない日本人）との交易も始まりました。しかし、アイヌの人々の生活は次第に圧迫されるようになり、しばしば和人との間に争いも起こりました。その後も、明治以降の開拓によって、アイヌの人々の居住地や文化はさらに奪われていきました。日本とロシアの国境交渉も、アイヌの人々の居住地域については考慮されませんでした。

アイヌの人々が、日本国憲法の下で平等を保障された国民として、その人権が擁護されなければならないのは、当然のことです。しかし、アイヌの人々に対する理解が十分ではないため、進学や就職、結婚などで差別や偏見が依然として存在しています。これに対し、アイヌ民族の正当な地位を築こうという気運が高まり、1997（平成9）年には、アイヌ文化を振興し、伝統の普及を目的とした「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」（アイヌ文化振興法）が成立しました。そして、2007（平成19）年9月、「先住民族の権利に関する国連宣言」（先住民族権利宣言）が採択され、政府が初めて、アイヌの人々が先住民族であることを認めました。

現在、アイヌ語伝承のためのアイヌ語教室が開設されたり、伝統文化や伝統行事が各地で復活し、国や地方公共団体もアイヌの人々に対する理解と認識を深めるよう支援を行っています。

アイヌ語で和人を示す言葉は、「シサム」です。これは「本当の隣人」という意味です。

#### ちり ゆきえ 知里 幸恵 (1903 ~ 1922)



北海道の登別市で生まれ育ったアイヌ。幸恵は、文字をもたなかったアイヌ語にローマ字での発音と日本語訳をつけ、『アイヌ神謡集』にまとめた。13篇のカムイユカラ（神謡）が収められているこの著書のアイヌ語表記と対訳及び序文は高い評価を受けている。1922（大正11）年5月、幸恵は上京するが、心臓病のため、同年9月、19歳という短い生涯を閉じた。アイヌとしての民族意識と誇りをもち、アイヌ語とアイヌ民族の文化を伝えるという使命を果たした幸恵は、没後、その著書と、そこにこめられた精神によってさまざまな人たちに感銘を与え続けている。

私はアイヌだ。何処までもアイヌだ。

写真提供：NPO 知里森舎

#### まつうら たけしろう 松浦 武四郎 (1818 ~ 1888)



三重県松阪市出身の探検家。アイヌ民族と寝食をともにする調査を行い、アイヌ民族が素晴らしい文化をもっていることを強く感じた。そして、蝦夷地の様子を伝える多くの紀行本の執筆や地図製作に取り組み、アイヌ文化の紹介に力を注いだ。幕府が、文化の異なるアイヌ民族に本州の文化を強制的に押し付けたり、商人たちがアイヌの人びとを酷使している実態を改善しようと、アイヌ文化への正しい理解を求めて、幕府への調査記録などで切実に訴えた。

旅には生きた学問があります。人が人を知らずしてなんで人の道をまっとうできましょうか。

写真提供：松浦武四郎記念館

## トピックス1 国際人種差別撤廃デー

3月21日は国連が定めた人種差別撤廃デーです。(1966(昭和41)年、国連総会で制定)1960年に南アフリカで、アパルトヘイトに反対するデモ行進に警察が発砲し、69名が犠牲になりました。この事件を忘れることなく、人種差別撤廃に取り組もうと、毎年この日を記念して、世界中で人種差別の撤廃を求める運動が展開されています。

## トピックス2 人種差別に立ち向かった人たち

### ネルソン・ホリシャシャ・マンデラ (1918 ~ 2013)



反アパルトヘイト運動により反逆罪として逮捕され、27年間に渡り刑務所に収容された。釈放後、アフリカ民族会議(ANC)の副議長に就任し、その後議長を務めた。アパルトヘイトを撤廃する方向へと南アフリカを導き、1991年、アパルトヘイトは全廃された。1994年に黒人として初めての大統領に就任し、1999年に行われた総選挙を機に引退した。2013年12月死去したが、追悼式には100近い国と地域の指導者が集まり、市民5万人以上が詰めかけた。運動のなかで、27年間の獄中生活を送るが、ともに運動をしてきた人々は、「マンデラ氏は、牢獄から憎しみではなく和解の思いをもって出てきた。マンデラが許したから私も白人を憎まない。」と語る。1993年ノーベル平和賞受賞。

自由であるというのは、単に己の鎖を脱ぎ捨てるだけではなく、他人の自由を尊重し、向上させるような生き方をすることである。

### マーティン・ルーサー・キング・ジュニア (1929 ~ 1968)



アフリカ系アメリカ人公民権運動の指導者として活動した。インド独立の父マハトマ・ガンディーの影響を受け、非暴力主義による運動を行った。1963年8月28日に行われたワシントン大行進において、リンカーン記念堂の前で、「I have a dream」(私には夢がある)で知られる演説を行い、人種差別の撤廃と各人種の協和を訴え広く共感を生んだ。演説から約50年の時が流れ、アメリカ合衆国では、2009年アフリカ系のオバマ大統領が誕生した。1964年ノーベル平和賞受賞。

私には夢がある。それは、いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。

### すぎはら ちうね 杉原 千畝 (1900 ~ 1986)

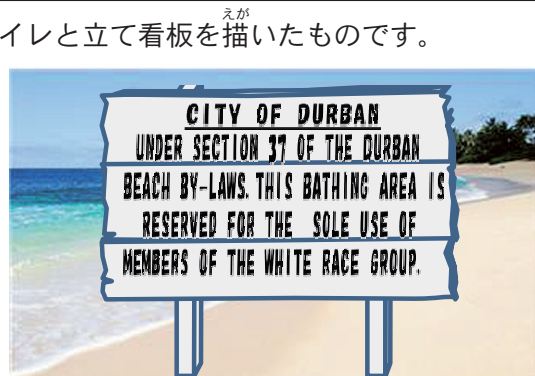
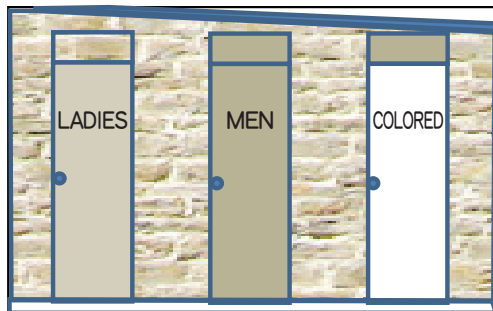


第二次世界大戦中、日本領事館領事代理として赴任していたリトアニアのカウナスで、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人たちにビザを発給し、約6,000人のユダヤ人難民を救ったといわれる。杉原の発給したビザは「命のビザ」とよばれる。

世界は大きな車輪のようなものですからね。  
対立したり、あらそったりせずに、みんなで手をつなぎあって、まわっていかねばなりません。

## ◆ あらゆる人種差別の撤廃に向けて

これは、1980年代の南アフリカ共和国の公衆トイレと立て看板を描いたものです。



1989年に南アフリカ共和国のダーバンビーチで撮影された写真をもとに描いています。

### アパルトヘイト

アパルトヘイトは、南アフリカ共和国で行われていた、人種隔離や人種差別の政策です。少数の白人が、多数の非白人を支配するため、政治・経済・社会のあらゆる場面で差別政策がとられました。

人種別に居住地を定めた「集団地域法」や、出生時の人種別登録を義務づけた「人種登録法」、異人種間の結婚を禁じる「雑婚禁止法」、公衆トイレなどの公共施設をすべて白人用と非白人用に区別した「隔離施設留保法」などから成りました。1991年に国による差別政策は廃止されましたが、撤廃運動を指導したのがネルソン・マンデラ氏でした。

### アメリカ大陸の先住民と黒人奴隷

かつて、メキシコ高原にはアステカ帝国が、ペルー高原にはインカ帝国が栄えていました。いずれも巨大な石造の神殿などをもつ都市をつくっていましたが、16世紀の前半にスペインに滅ぼされました。征服された先住民たちは、鉱山やさとうきび農園などでの労働を強いられていました。先住民の人口が減ると、アフリカから黒人が奴隷として連れてこられ、働かされるようになりました。



マチュピチュ

また、アメリカ合衆国南部においては、黒人の奴隷を使う大農場が広がりました。

1863年、アメリカ合衆国は奴隷解放を宣言し、奴隷制度は廃止されました。しかし、奴隷からの解放は、直ちに人種差別の撤廃を意味するものではなく、学校やトイレ、プールなどの公共施設やバスなどの公共交通等において、白人と非白人が異なる施設を用いることは容認されたままでした。

約100年後の1950年代から1960年代にかけて、非暴力主義によって、黒人の公民権獲得の運動を指導したのがキング氏でした。

### 人種差別撤廃条約（あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約）

1965年の第20回国連総会で採択された人種によるあらゆる差別をなくすことを目的とする条約です。日本は1995（平成7）年に146番目の締約国となりました。

#### 第1条の1

この条約において、「人種差別」とは、人種、皮膚の色、世系又は民族的若しくは種族的出身に基づくあらゆる区別、排除、制限又は優先であって、政治的、経済的、社会的、文化的その他のあらゆる公的生活の分野における平等の立場での人権及び基本的自由を認識し、享有し又は行使することを妨げ又は害する目的又は効果を有するものをいう。

#### 参考

1919（大正8）年のパリ講和会議で、日本は、国際連盟の規約に「人種差別撤廃」を盛り込む提案を行いました。国際連盟規約委員会出席者16人中11人の賛成を得ましたが、全会一致の考え方により否決されました。しかし、この日本の提案は多くの国々の共感を呼びました。